

第 3 節 地域と連携した防災訓練

1 神奈川県における実践的防災訓練

防災教育で重要なことは、日頃の教科等横断的に学び得た「知識」を、総合的な探究の時間等において「つなぎ」「深め」、実践的防災訓練を通して「主体的に行動する態度」や「的確な判断力」を養うことである。

現在、神奈川県では、生徒が自らの安全確保はもとより、友人や家族、地域の人々の安全にも貢献しようとする態度や応急手当の技能を身に付け、地域の防災活動や災害時のボランティア活動にも積極的に参加できるよう、生徒参画・体験型の実践的防災教育を実施している。

2 DIG訓練について

DIG訓練とは、大きな白地図等を囲み、全員で地図上に必要な情報を書き込み、災害時の対策などについてグループ討議を行うワークショップ型の災害図上訓練であり、生徒が自ら気づき、自ら解決する力を育てることで自主的防災意識の向上が図られるとともに、災害時に必要な能力を身に付けることが期待できる訓練手法のひとつとされている。

*DIG (ディグ) …災害 (DISASTER)、想像力 (IMAGINATION)、ゲーム (GAME) の頭文字をとって名付けられた呼称

3 地域と連携した訓練について

地域住民にとって、学校は災害時の重要な避難場所のひとつとして期待されているため、地域との連携・協力のもと実践的な防災訓練等を実施し、生徒自らの安全と他者の安全にも貢献できる生徒の育成をめざしている。

さらに、平成 26 年度からは災害により帰宅困難となった場合を想定した宿泊訓練を実施している学校もあり、「学校の防災活動においてリーダーとなる生徒の育成」や「災害時の対応を想定した地域や家庭等との連携・協力体制の構築」、「発災時の教職員の役割分担や行動の確認」、「非常用物資等の点検、試用」など、学校や地域の実情に応じた目的を設定し、地域の一員として何ができるかなどを考え、生徒・教職員の防災・減災意識の向上に努めている。(※詳細な取組は P36～39 参照)

宿泊訓練等実施校

令和元年度

【全 日 制】座間高等学校・深沢高等学校・大和東高等学校

【定 時 制】津久井高等学校

【特別支援】岩戸養護学校・津久井養護学校・鶴見養護学校・藤沢養護学校・

三ツ境養護学校・みどり養護学校

平成 30 年度

【全 日 制】綾瀬高等学校・深沢高等学校・高浜高等学校・平塚商業高等学校・大和東高等学校

【定 時 制】津久井高等学校

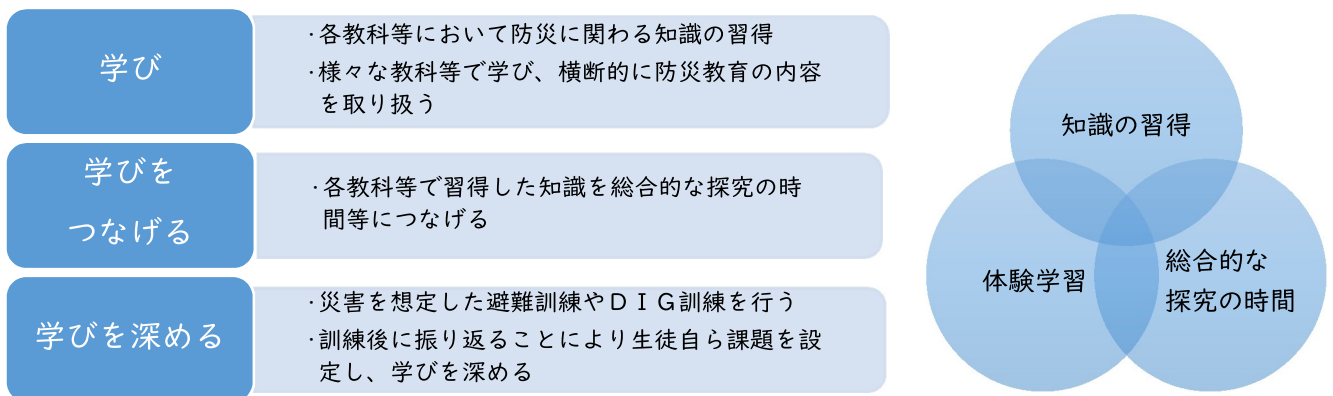
【特別支援】岩戸養護学校・津久井養護学校・鶴見養護学校・三ツ境養護学校

まとめ

第 I 章では神奈川県における防災教育の取組について、教育課程における防災教育の位置付けや防災教育を推進するにあたっての管理職及び中核教員の役割と人材育成について、さらに、地域と連携した防災訓練の必要性について述べた。

これら 3 つは、カリキュラム・マネジメントの 3 つの側面である「教科等横断的な視点」「PDCA サイクルの実践」「地域人材の活用」に沿ったものであるため、全教職員が組織的に防災教育に取り組むことにより、生徒一人ひとりの「主体的に行動する態度」の育成につなげることができる。

第 2 章では、教科等の指導内容及び指導上の留意点を紹介するとともに、ハンドブックなど実際の指導教材例を掲載した。各学校の実態に応じて、適切な学校安全計画のもと、教科等横断的な視点で防災学習による知識を習得し（「学び」）、総合的な探究の時間等で「学び」をつなげ、避難訓練や D I G 訓練などの実践的防災教育として「学び」を深め、生徒の「的確な判断力」や「主体的に行動する態度」の育成に活用していただきたい。



※順序は関係しない